

教科名		【教科:技術科】	教科書調査報告(教科書調査委員会)
発行者名		東京書籍	開隆堂
調査の観点			
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・内容が精選されているため、無理なく基礎・基本の定着を図ることができる。 ・授業の流れに沿って編集されており、生徒にとって作業手順などが分かりやすい。 ・重要語句はゴシック体で強調されている。作業の技術的な面は、イラストや写真が適切に選択されていて見やすいと同時に、説明が分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の種類や加工技術など、細かいところまで幅広く網羅しており、事例の比較などがしやすいので、基礎・基本の定着に役立つ。 ・写真やイラストが多く、説明文が簡潔になっている分、重要事項が鮮明になっている。 ・実習例が多彩で、指導内容に合わせた取捨選択の幅が広がっている。
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術では、つまずきが予想される箇所をあらかじめ想定して解説がされている。 ・エネルギー変換の技術では、内容ごとに問題解決例が例示されている。 ・情報の技術では、基本的なコンテンツから改良や応用について考えられるようステップに分けて解説がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各小項目の冒頭に導入課題が設けられており、それに合わせた実験や資料が配置され、それらを結び付けて取り扱うことで、思考力・判断力・表現力の育成につなげることができる。 ・各内容の終わりには、学習の振り返りやまとめに取り組み、自己評価ができるよう工夫されている。
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の社会と結び付ける内容が豊富で、学習と社会との結び付きを実感できる。 ・内容も、現場の技術者のメッセージ性が強く、生徒に伝わりやすい。 ・最先端の技術を紹介すると同時に、身の回りの製品についても分かりやすく説明がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストや写真は最新のものが精選されており、生徒にとって見やすいものが多く使われている。 ・最新の情報を取り入れやすいように、随所にあるQRコードから参考動画などを参照できるように配慮されている。
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各編のまとめにおいて、持続可能な社会やGAP(農業生産工程管理)の取組、パリ協定、地球温暖化などを積極的に取り上げている。 ・復興や自然災害へ備える技術も紹介されている。 ・巻末では、SDGsと技術の目標から、学習に関連する項目を取り上げ、まとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスをはじめ、本文の随所に技術と環境との関わりについての記述があり、循環型社会や持続可能な社会について考えながら学べるように配慮されている。 ・防災に関する内容にも触れている。 ・巻末には、日本の伝統的な技や材料・工芸について触れ、日本の文化の理解へと結び付けられている。
B 使用上の 便宜 について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの問題解決から、社会の問題解決まで幅広く掲載されており、各学年の生徒の発達段階へ対応できる。 ・文字の大きさや図の配置が適切で見やすく、親しみやすい。 ・補足資料が豊富で、その配置が学習の流れを妨げない配慮がされている。 ・Dマークコンテンツにより、インターネットを活用した学習ができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本と「参考」「探究」の区分が明確になっている。 ・参考資料が多く掲載され、実験などの準備や手順も明確であり、生徒が取り組みやすいように配慮されている。 ・実験や課題を通して、他者との関わりをもてるように配慮されている。 ・探究課題が設定されており、より深い学びになるよう工夫されている。
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各編の最終章には、持続可能な社会の構築に向けて、生徒が技術を評価し、新たな発想で改良するワークシートが掲載されている。また、巻末では、SDGsと技術の関係が見開きでまとめられており、ESDを進める上で、十分な内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会における技術の役割を取り扱い、学習に対する意識付けや興味・関心が引き出せるよう工夫され、勤労を重んじる態度が育めるように配慮されている。巻末には、情報を適切に扱えるように注意点がまとめられ、用語解説やトラブル時の相談先など、生徒への配慮が工夫されている。

教科名		【教科・技術】	教科書調査報告(教科書調査委員会)
発行者名		教育図書	
調査の観点			
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に沿って、写真や図が多く使われていて、理解が深まる。 ・学習のまとめが問題形式なので知識が身に付いているか分かりやすい。 ・全体を通して製作の説明が分かりやすくまとめられている。 ・顕微鏡や電子顕微鏡の写真を載せることで、材質の違いが明確に理解できる。 ・素材名の下に用途例があり、理解しやすい。 	
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・2章では、1章での実習体験を生かしながら、生徒自ら課題を見付けて、設計・計画をして題材を作るなど、課題解決のために必要な思考力を育成する配慮がされている。 ・設計図の寸法の記入方法が何が正しくて、何が間違っているかなどを分かりやすくまとめて表記している。 ・領域ごとに問題発見の一助になるような表記があり、生徒が自発的に問題発見をすることができる。 ・実習から課題を見付け、課題から知識を学び、活用させるというステップで単元が構成されているので、課題解決的な学習に似た過程で学習が進められる。 	
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・題材例を中心にして説明がされており、素材などの説明は精選されている。 ・時代に即した作品例が多く掲載されている。 	
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルに関する内容が細かく書かれていて、ESDの視点が盛り込まれている。 	
B 使用 上の 便宜 について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードは授業中でも、自宅に帰ってからでもすぐに見ることができる。 ・実習に必要な内容が別紙になっているため、実習時に必要な内容が調べやすい。 ・教科書の題材で実習する場合は、生徒が自分で調べて製作できる。 ・寸法記入について、正解と間違いを比較する項目があり、主体的に学習をすすめられる。さらに、自分自身で確認することができるように工夫されている。 ・文字だけでなく、教科書全体がカラフルで見やすい。 ・設計の手順や管理作業の計画など、手書きのものが掲載されているのでイメージがしやすい。 	
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各編の学びを「深め生かそう」では、環境面などESDを進めるための内容が掲載されている。 	